

マルハニチロ株式会社



事業概要 : 漁業、養殖、水産物の輸出入・加工・販売 他
従業員数 : 3,419名 (2024年3月31日現在)
実施部署 : 総務部、人事部
部署障害者数 : 10名 (知的障がい者5名・精神障がい者2名・発達障がい者3名)

開催日	令和7年5月16日	受講人数	対面 10名 オンライン 16名
-----	-----------	------	---------------------

■ 講座内容

- ① 障がい者雇用の現状と考え方
- ② 障がい者雇用への社内理解の進め方

■ テキスト

オフィス業務に広がる障がい者雇用

障がい者雇用の必要性の理解ステップ

法的な責務 社会的背景 障がいへの理解

障がい者雇用は、単に「雇用」ではなく、障がい者自身の能力や特性を活かすことが重要です。また、障がい者雇用の推進には、企業全体の文化や意識の醸成が不可欠です。

現在を理解することによって、障がい者雇用に必要な「必要性がある」ことを知ってもらおう

きっかけ

障がいのある社員で「なないろサポートチーム」を組織し、軽作業、事務、販売補助などを行っています。チームの管轄が人事部から総務部に代わったため、障がい者雇用への理解を一層拡大すべく講座を受講しました。

感想

毎日、仕事ぶりを見ていると、皆さんそれぞれが、自分に合った仕事をこなしているという印象を受けています。今回の講座では実際に自身の身近にいる障がい者の社員について、深く理解できて良かったです。特に「合理的配慮」と「わがまま・甘え」の線引きは非常に難しいなと感じました（総務部 担当者）。

これから

総務部だからこそ、今後障がい者雇用に関わる機会があると思いました。実際に講義のなかで挙げられていた勉強会やインターシップなど、障がい者の方々にとっても私たちにとっても意味のあるイベントなどを実施してみたいです（総務部 担当者）。